

平成30年度学校自己評価結果

1. 評価方法

○評価の実施に当たっては、文部科学省が定めた「専修学校における学校評価ガイドライン」を参照として本校の評価項目を設定した。

○各評価項目について、学校評価アンケート結果も踏まえ、次の評価基準により教職員が実施した。

・ 適切：4 ・ ほぼ適切：3 ・ やや不適切：2 ・ 不適切：1

○評価結果は、各教職員の自己評価結果の平均値とした。

2. 評価項目の状況

(1) 教育理念等

評 価 項 目	評価結果
①本校教育の特色は明らかか	3.5
②社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.4
③教育理念・校訓・教育方針などが学生・関係業界・保護者等に周知されているか	2.9
④育成する人材は、社会情勢や業界のニーズを踏まえているか	2.9
⑤学則・諸規程等は、十分に整備されているか	3.0

【評価内容】

①教育理念・校訓・教育方針は定められている。

②本校は、昭和56年の開校以来、折々の情勢に対応し、より充実した教育内容を目指した学校改革を行ってきた。平成27年度には、学校を取り巻く状況変化から「専門知識・技術の高度化」や「国際化への対応」などを目指し、3年制に取り組んだ。

しかし、今後5年先、10年先の本校のあるべき姿が明確になっていない。関係者とともに、本校に求められている社会経済のニーズ等をしっかり把握し、今後学校が目指すべき姿を描いていきたい。

③本校の教育理念、校訓などは、ホームページや学生便覧に掲載しているが、更に学校案内に明示するなど、学生・関係業界・保護者等への周知を図っていく。

④育成する人材像は、今後も学校運営委員会等をはじめとして、宝飾業界と緊密に連携をとり、社会情勢等の動向を見極め、変化に対応していく。

⑤必要な改正はその都度行っているが、円滑な業務を遂行する上で、更に明確な取り扱いの定めが必要なものは整備していく。

(2) 学校運営

評 価 項 目	評価結果
①教育理念等に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	2.8
②運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	2.6
③教務に関し、組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.5
④業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.6
⑤教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2.9
⑥情報のネットワーク化等による業務の効率化が図られているか	2.9

【評価内容】

①運営方針や事業計画は教育理念等に沿ったものとなっているが、引き続き、教育理念等を踏まえた人材育成に取り組んでいく。

②業務分掌とともに、それぞれ業務毎に責任者を定めて組織運営に当たっている。しかし、運営組織や意思決定機能は形骸化しており、有効的に機能させるための改善が必要である。

③教務に関する意思決定システムは明確になっておらず、整備が必要である。

④コンプライアンス体制については、職場研修を実施するなどして職員意識を醸成するとともに、体制の整備を図っていく。

⑤教育活動に関する情報公開については、授業の様子や各種コンテストへの参加状況、学習成果

品の発表などをホームページに掲載するとともに、展示・交流スペース等において公開しているが、更なる情報公開に努める。

⑥情報システムを導入し業務の効率化を行っているが、今後も必要に応じて改善を図り効率化に取り組んでいく。

(3) 教育活動

評 価 項 目	評価結果
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.3
②教育理念、教育方針や業界ニーズを踏まえた教育到達レベルのための学習時間の確保は明確にされているか	3.2
③カリキュラムは体系的に編成されているか	3.2
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	3.0
⑤業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.1
⑥実践的な教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか	3.3
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか	2.4
⑧外部関係者からの評価を取り入れているか	2.8
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2.9
⑩ジュエリーコーディネーター試験、技能検定、技能五輪出場等のための指導体制について、カリキュラムの中で体系的な位置付けはあるか	2.9
⑪目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.6
⑫業界団体等との連携において優れた外部講師を確保するなどのマネジメントは行われているか	2.9
⑬先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.3
⑭教員の能力開発のための研修等が行われているか	2.2

⑮産地の一流職人を活用するなど、地域性を考慮し特色ある教育に努めているか	3.2
⑯3年次の分野を選択して専門に特化する授業形態は、効果を発揮しているか	3.0
⑰専門知識や技術の習得に加え、高い人間力や幅広い対応力を備えた人材育成に取り組んでいるか	2.3
⑱グローバル化の進展に伴い、国際対応力の強化に取り組んでいるか	2.5

【評価内容】

- ①教育理念等に沿ったカリキュラムを編成、実施している。
- ②教育理念、教育方針や業界ニーズを踏まえたカリキュラムを策定し、必要学習時間を確保するとともに、シラバスにより目標、内容を明示している。
- ③カリキュラムの編成は、「1年次は基礎」「2年次は応用」「3年次は実践選択科目」とするなど、学習体系に沿ったものとなっている。
- ④高度な技能の取得が可能となるよう選択科目を設置するとともに、高度な技術を有している外部講師により指導を充実させている。
- ⑤カリキュラムの作成・見直しについては、学校運営連絡会議等での意見を踏まえ行っている。
- ⑥実際の業務を体験することにより、学生の就業意識の向上を図るとともに、自身の適性分野を判断させることによる就職時のミスマッチを防ぐことを目的に、長期インターンシップを実施しているが、業界、実施学生の意見を踏まえ、更に充実を図っていく。
- ⑦学生全員のアンケート調査を実施し、その結果を授業等に反映させている。今後は更に多くの方からご意見をいただき、教育力の向上に努めていく。
- ⑧学校運営連絡会議に協議事項を提案し、出された意見などを学校運営に反映させている。
- ⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定は、基準に基づき職員会議で判定している。特殊事例については、その都度協議している。
- ⑩ジュエリーコーディネーター試験、技能検定、技能五輪出場等のための指導体制についてカリキュラムの中に位置付けているが、試験結果など効果を検証するとともに、3年間のカリキュラム中でどう位置付けていくのか検討していく。

- ⑪教員増は困難な状況から、教員の更なる教育力向上を目指し研修などの取り組みを進めていく。
- ⑫業界と事前調整を行うなど連携を図りながら優れた技能を有する外部講師を選定しているが、今後も業界の意見を十分踏まえ選定していく。
- ⑬先端的な知識・技能等を修得するため、市場調査やジュエリーに関する展示会等のイベントへの参加等を行っているが、常に技術や知識の習得に励む必要がある。更なる教育力向上のための効果的な取り組みを検討、実施していく。
- ⑭今年度は新たに産業技術短期大学校へ教員を派遣し授業を受け持ち、また、行政職員に交じり階層別研修に参加した。今後も、効果的な研修を検討、実施していくとともに、教員自らも能力開発に努め、質の高い指導を展開していく。
- ⑮産地の一流職人と触れあう機会を提供し、ジュエリー産地山梨の技を直に学ばせ、産地で活躍する意欲を高め高度な技術を修得するため「輝きの伝承講座」を実施した。今後も、地域の特性を活用し、特色ある教育づくりに努めていく。
- ⑯2年次までの基礎的及び応用的な学習に加えて、3年次では実践的な知識や技術をじっくり学ぶことにより、専門分野を持った人材の育成に取り組んでいる。3年制により、専門的な技術や知識は身に付いている。
- ⑰現在はジュエリー関係の技術や知識を身に付けることを主体に行っている。ジュエリーの分野に加えて、他の分野の教養を身に付けることで、幅広い経験を積み、高い人間力や対応力の形成が図られるが、現状ではカリキュラムに組み込むのは困難な状況である。
- ⑱1年次当初からビジネス英語を取り入れるとともに、3年次ビジネスにおいては香港への海外研修を実施している。今後も更なる語学能力や技術力の向上等に努め、世界に通用する人材の育成に取り組んで行く必要がある。

(4) 学習成果

評 価 項 目	評価結果
①関係業界への就職率の向上が図られているか	3.3
②ジュエリーコーディネーター試験、技能検定等の合格率の向上が図られているか	3.3

③退学率の低減が図られているか	2.7
④留年者数の低減が図られているか	2.7
⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2.5

【評価内容】

- ①学生に業界への就職を働き掛けるとともに、企業説明会や個別相談会を実施し、関係業界への就職率の向上を図っている。このため毎年業界への就職率が95%を超えるなど成果を上げている。
- ②担当教員が連携して指導体制を組んでおり、J C試験や技能検定において、合格率が向上している。更にバックアップ体制を充実し、合格率向上に向けて体制の整備を行っていく。
- ③退学者については、その要因が進路変更、成績不振、経済的事情など様々な中、各担任が個別に対応し退学防止に努めているが、更に相談体制を充実するなど退学者数の低減を図っていく。
- ④留年者については、その要因が成績不振、出席不足、経済的事情など様々な中、各担任が個別に対応し留年防止に努めているが、更に授業でのサポートや相談体制を充実するなど留年者数の低減を図っていく。
- ⑤卒業生については、調査を実施して実態把握に努めるとともに、状況を分析し、今後の教育活動の改善に活用していく。

(5) 学生支援

評 価 項 目	評価結果
①就職（進路）に関する支援体制は整備されているか	3.2
②学生相談に関する体制は整備されているか	3.2
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.1
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.0
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.8

⑥学生の生活環境への支援は行われているか	2.8
⑦学生への情報提供は、十分に行われているか	3.1
⑧卒業生への支援体制はあるか	2.5
⑨企業等のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.4
⑩高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	2.3
⑪保護者と適切に連携しているか	2.7

【評価内容】

- ①就職については業界と連携しながら、情報の収集や学生への提供、校内での企業説明会の開催など計画的に指導・支援し、就職率の向上を図っている。
- ②学生からの相談に対しては、各担任が適切に対応している。また、事務室前に相談箱を設置し対応している。
- ③経済的に困窮している学生に対しては、授業料減免制度を導入して支援している。また、日本学生支援機構の奨学金の紹介も行っている。
- ④学生の健康管理については、危機管理マニュアルを定めているほか、年度当初の健康診断、保健室の設置、学校医との連携など適切に対応している。
- ⑤自治会活動やクラブ活動において、担当教員を選定して支援している。
- ⑥随時、各担任による個別ヒアリングを実施するなど支援している。
- ⑦掲示板、メール、或いは個別に電話連絡するなどして、学生に情報提供している。今後も迅速に多くの情報を的確に提供することに努める。
- ⑧卒業生からの相談に対しては個別に対応しているが、ホームページによる情報提供の仕組みについても検討していく。社会人を対象とした夜間講座については、実施する講座のニーズの把握に努め、要望の多い技術や知識の提供に努めていく。
- ⑨より実践的な学習を行うため、企業連携課題を授業に取り入れている。また、企業のニーズ把握に努め、教育環境の充実を図っていく。

⑩高等学校等と連携して、出前授業の実施など、高校生に直接指導できる機会を増やし、ジュエリーへの感心を高めるための取り組みを行っていく。

⑪問題が発生した場合、保護者に対して担任から直ちに電話連絡するなど適切に対応している。また、後援会会報を送付し、情報提供している。

(6) 教育環境

評 価 項 目	評価結果
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.1
②学内の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.2
③学生が自主的に学習するための環境が整備されているか	2.4
④防災に対する体制は整備されているか	3.1
⑤図書室（書庫）の蔵書は、学生が活用するのに十分整備されているか	2.8

【評価内容】

①設備は毎年度見直しを行い、教育上の必要性に応えることとしているが、更新計画どおり行えないものもあり、計画の見直しを図る中で適切に対応していく。

②インターンシップについては業界と連携し、学生の要望を踏まえて実施している。海外研修については、綿密に計画を立て実施している。

③教室は申請に基づき授業外も開放し、交流スペースではネット環境も整え、学生の自主的な学習をサポートしている。ただ、開放時間延長の要望も多く、検討する必要がある。

④消防法に定める設備は整備されている。また、危機管理マニュアルや防災計画を定め、防災体制の強化に努めている。今後は学生に対して、更なる防災意識の高揚に努める必要がある。

⑤図書については毎年予算の範囲内で整備している。今年度は企業から25冊の寄付をいただいた。しかし、まだまだ整備していかなければならない状況にあり、予算獲得に努めていきたい。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価結果
①高等学校等に対する情報提供等の取り組みが行われているか	3.4
②学生募集活動は、適正に行われているか	3.2
③学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.2
④募集内容、募集期間など学生募集の周知は、十分行われているか	3.1
⑤オープンスクールの実施内容、実施回数などは、十分に行われているか	3.2
⑥県外高校等への募集活動は、十分に行われているか	2.5
⑦学校案内、学生募集要項の内容は、十分必要な情報を掲載しているか	3.2

【評価内容】

- ①担当職員が学校訪問を実施し、本校の概要や特色、就職状況等の情報を提供している。また、各学校の合同説明会に参加し、説明を行っている。
- ②学校案内や募集要項を作成し郵送配布するとともに、ホームページ上で公開、県内高校への学校訪問、オープンスクールの開催等、受験者の確保に努めている。また県外からの問い合わせには、資料を送付するなど対応している。
- ③資格取得や就職状況などの情報は、ホームページや学校案内に記載するなど、積極的に公開している。
- ④学生募集の周知については、県内の高校については職員が学校を訪問するとともに、ホームページ上での公開、学校案内や募集要項の配布、オープンスクールの実施、進学相談会への参加など、積極的に取り組んでいるが、県外高校等への募集活動を更に充実する必要がある。
- ⑤オープンスクールについては5回開催しており、入学案内、カリキュラムや就職状況の説明、施設見学とともに、体験講座を開催して実際に体験してもらっている。今後も学校の魅力を伝えられるよう工夫していく。

- ⑥県外高校等への募集活動は、学校案内や募集要項等を郵送配布しているが、ますます少子化が見込まれることから、ツイッターやインスタグラム等の新たな媒体の活用や、入学実績のある県外高校への訪問など検討する必要がある。
- ⑦ページ数の制限があるので、伝えるべき情報を整理し、的確に分かりやすく工夫していく。

(8) 法令等の遵守

評 価 項 目	評価結果
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.5
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.0
③学校評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.6
④学校評価結果は公開しているか	3.4

【評価内容】

- ①法令や設置基準の順守については、随時研修を実施し適切に対応している。
- ②個人情報保護については、その重要性を周知し、法令等を遵守している。
- ③学校評価は実施している。問題点の改善については、できるところから実施している。
- ④学校評価結果は公開している。

(9) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	評価結果
①ニーズを踏まえた夜間講座を積極的に実施しているか	2.8
②学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.7
③学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.5
④学校の立地条件を活用し、学校と地域とで連携した取り組みを行っているか	3.1

【評価内容】

- ①夜間講座の実施にあたってはアンケートを実施し、ニーズを把握したうえで講座を開設しているが、未開講の講座もあるので、更なるニーズ把握と実施状況の検証・改善が必要である。
- ②学校図書室、交流スペースについては、誰でも自由に使用できるようになっているが、活用が十分ではなく、ホームページなどで周知を図る必要がある。
- ③学生がボランティア活動のため授業を欠席する場合は公欠扱いとするなど、ボランティア活動を支援しているが、今後も学生がボランティア活動に取り組みやすい環境を整備していく。
- ④今年度は学生の作品展示を商店街や銀行のスペースを借りて行ったが、立地条件を活用して更に何ができるか検討し、地域と連携した取り組みを実施していく。
- ⑤交流スペースにおいて作品展示を行っているが、十分に活用されていない。交流スペースでのイベントの開催や、交流スペースの存在の周知等を行っていく必要がある。

3. 今後取り組むべき課題

- 5年先、10年先の本校のあるべき姿の検討
- 教員の能力開発、指導力向上等のための研修の実施
- 学生がより自主的に学習できる環境整備
- 高度技術専門コース（夜間講座）の充実
- 卒業生への支援体制の充実
- 県外高校等への募集活動の充実